

ウッドロングエコ塗装仕様書および取説 0597-27-3361

作成者：有限会社 小川耕太郎・百合子社 三重県尾鷲市賀田町 105 番

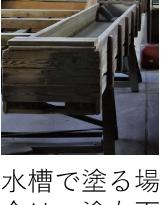
(平日 8:30 ~ 17:00 迄)

※この塗装仕様書および取説は「塗る」ことに関する情報です。詳細はカタログに記載しています。必ずお読みください。

塗装前の準備

塗布前に	色について	<input type="checkbox"/> この商品を塗布した色は、木の成分がウッドロングエコの成分と反応してできた色です。樹種によって成分が異なり、同じ木でも微妙に成分が違うので、均一な色ではなく、自然な色味が特徴です。 <input type="checkbox"/> 事前にテストしてから色味をご確認し、本塗りをしてください。 <input type="checkbox"/> 塗布前にカタログ p17 と取説を必ずお読みください。ご不明な点はご相談ください。																																						
	安全のための注意事項 	<input type="checkbox"/> 乾燥粉末の状態では、濃縮されているので強酸性です。乾燥粉末そのものを吸い込まないように、また目などに入らないようご注意ください。もし入った場合は、すぐに流水で 15 分以上目をすすいでください。万が一、異常がある場合は強酸性であることを医師に告げ相談してください。 <input type="checkbox"/> 粉末を溶かすときに微細な粉末が飛びます。水溶液をつくる時は風が吹かない場所をお願いします。また、目に入らないよう防塵ゴーグルなどのご使用をおすすめします。																																						
	養生	<input type="checkbox"/> ウッドロングエコが他の材料に付着しないよう養生してください。コンクリートの上で使用する場合は、コンクリートの変色を防ぐためシート等を敷き養生してください。																																						
ウッドロングエコの水溶液のつくり方	塗布する箇所	<input type="checkbox"/> 木の表面 + 裏面 + 木口 + 側面 + 現場で木をカットした時の木口																																						
	樹種別 塗布面積 概算方法  既に何か塗布されている木材にはお使いいただけません。	<p>表1</p> <table border="1"><thead><tr><th>樹種</th><th>塗布面積</th><th>ウッドロングエコ 粉末量</th><th>容水量</th><th>塗布回数</th></tr></thead><tbody><tr><td>杉</td><td>約 2 m²</td><td rowspan="2">3 g</td><td rowspan="3">0.5 ℥</td><td>2 度塗り</td></tr><tr><td>ヒノキ・松</td><td></td><td>3 度塗り</td></tr><tr><td>荒材</td><td>約 0.6 m²</td><td></td><td>2~3 度塗り</td></tr><tr><td>杉</td><td>約 14 m²~ 18 m²</td><td rowspan="3">20 g</td><td rowspan="3">3.8 ℥</td><td>2 度塗り</td></tr><tr><td>ヒノキ・松</td><td></td><td>3 度塗り</td></tr><tr><td>荒材</td><td>約 4.7 m²~ 6 m²</td><td>2~3 度塗り</td></tr><tr><td>杉</td><td>約 70 m²~ 90 m²</td><td rowspan="3">100 g</td><td rowspan="3">19 ℥</td><td>2 度塗り</td></tr><tr><td>ヒノキ・松</td><td></td><td>3 度塗り</td></tr><tr><td>荒材</td><td>約 21 m²~ 27 m²</td><td>2~3 度塗り</td></tr></tbody></table> <p>※ヒノキ・松など油分の多い木や節 樹脂が多いため水溶液をはじきます。刷毛でまんべんなく押し付けながら 3 度塗りをし天日によく当ててください。ウッドロングエコの発色には 30 日以上かかりますので、工期には十分の余裕をみてください。</p> <p>※荒材の場合（カンナ仕上げをしない材） 水溶液の浸透が早いので塗り残しに注意！また、木の表面の粗さによっては[表1]の塗布面積を下回ることがあります。</p> <p>表2 水槽浸けの概算方法</p> <p>水槽浸けとは？ 塗布する木材が大量の場合は、水槽に所定の濃度のウッドロング水溶液を満たして浸す方法。</p> <p>塗布面積 刷毛塗りの 1/3 以下になることもあります。塗装作業が数日に渡る場合は、水溶液の蒸発量も考慮する。</p>	樹種	塗布面積	ウッドロングエコ 粉末量	容水量	塗布回数	杉	約 2 m ²	3 g	0.5 ℥	2 度塗り	ヒノキ・松		3 度塗り	荒材	約 0.6 m ²		2~3 度塗り	杉	約 14 m ² ~ 18 m ²	20 g	3.8 ℥	2 度塗り	ヒノキ・松		3 度塗り	荒材	約 4.7 m ² ~ 6 m ²	2~3 度塗り	杉	約 70 m ² ~ 90 m ²	100 g	19 ℥	2 度塗り	ヒノキ・松		3 度塗り	荒材	約 21 m ² ~ 27 m ²
樹種	塗布面積	ウッドロングエコ 粉末量	容水量	塗布回数																																				
杉	約 2 m ²	3 g	0.5 ℥	2 度塗り																																				
ヒノキ・松				3 度塗り																																				
荒材	約 0.6 m ²			2~3 度塗り																																				
杉	約 14 m ² ~ 18 m ²	20 g	3.8 ℥	2 度塗り																																				
ヒノキ・松				3 度塗り																																				
荒材	約 4.7 m ² ~ 6 m ²			2~3 度塗り																																				
杉	約 70 m ² ~ 90 m ²	100 g	19 ℥	2 度塗り																																				
ヒノキ・松				3 度塗り																																				
荒材	約 21 m ² ~ 27 m ²			2~3 度塗り																																				

塗り方・乾燥他

用意する物	<input type="checkbox"/> プラスティック製(ポリ製)のバケツ <input type="checkbox"/> 厚めの刷毛 <input type="checkbox"/> ウッドロングエコの水溶液 (※表1をみて必要量を計算する) <input type="checkbox"/> 養生用のシート
刷毛塗り	 刷毛に水溶液をひたし、バケツ縁で液を切る。板は木表から塗る。  刷毛で板の端から丁寧に伸ばす。  板の側面は液だれしやすいため、注意深く塗る。  木口は叩くようにして染み込ませる。  表面が乾いたら2回目を塗る。  ヒノキ・松また節の部分は、油分が多いので水溶液が浸透しにくい事がある。色変化をしない箇所は再塗装をする。
水槽浸け塗り	用意する物 <input type="checkbox"/> 耐水合板(1類) <input type="checkbox"/> ブルーシート(水槽用) <input type="checkbox"/> 養生用のシート <input type="checkbox"/> 厚めの刷毛またはコテ刷毛 <input type="checkbox"/> ウッドロングエコの水溶液 (※表2で必要量を計算)  耐水合板で水槽をつくりブルーシートで液が漏れないように水槽をつくる。  水槽で塗る場合は、塗布面積が刷毛塗りの1/3以下になります。  水槽に板を沈め、板に刷毛を押し付け気泡をつぶすように塗る。  可能ならば、塗布した板は立てかけて乾燥する。  別日に作業をする時は、ポリタンクに水溶液を戻す(液の蒸発を防ぐ)。水槽に微量に残った液は使い切る。
塗り残し確認	<input type="checkbox"/> 塗布後1~3日後に塗装の状態を再確認してください。塗り残した箇所は色変化をしていませんので、その箇所は、再塗装してください。
乾燥	<input type="checkbox"/> 塗布した木材は、立てかけたり、平積みにして日に当てて乾かす。 晴天の場合→塗布後3日間干す。日に当てることで色味が促進します。 <input type="checkbox"/> 日に当てることが難しい場合→棧積みして4~5日乾燥させてください。 乾燥中は雨にあたらないようにする。 <input type="checkbox"/> ブルーシートをかけっぱなしにしない。(蒸れが原因で木材が変色する恐れがある)
色変化を早める塗り方	色変化を早めたい場合は以下の方法があります。 ①濃い水溶液をつくる。②完全に乾いてから水で表面を濡らし、湿潤と乾燥を繰り返す。 ③水槽浸けにして塗装をする。④刷毛で再塗装。
加工時の釘	<input type="checkbox"/> ステンレス製の釘または、メッキ処理した釘をお使いください。
現場でカットした材	<input type="checkbox"/> 塗布済みの材をカットする時は、カットした木口にウッドロングエコを塗布する。
現場でのアクシデント対応	まずはお電話をください。 0597-27-3361 (平日 8:30~17:00) 状況によりオンライン対応をさせていただきます。